

別添1 高齢者等の移動手段の確保に向けた地域モデル事業について

高齢者をはじめとする県民や来訪者の移動手段確保のために、次世代モビリティ等を活用した取組や、交通分野と福祉分野等が連携した取組を、県モデル事業として市町、交通事業者等と連携して進めます。

移動に関する主な課題

1. 郊外型団地など都市部

運転士不足による路線バスの減便・維持が懸念される

駅やバス停までのラストワンマイルの移動手段がない

2. 交通不便地域

利用できる公共交通(鉄道・バス・タクシー)がない

駅やバス停まで遠い、歩けない



課題を解決するための取組をモデル事業として支援

○次世代モビリティ等を活用した取組
例：自動運転バス実証運行、AI配車システムを活用したデマンド交通実証運行、グリーンスローモビリティによるラストワンマイル実証運行 など

○交通分野と福祉分野等が連携した取組
例：介護保険訪問型サービスDを活用した住民輸送、デイサービス送迎車を活用した住民輸送、福祉タクシー事業者と連携した取組 など

【主な補助対象経費】
実証実験車両の運行費用、AI配車システム導入・運行費用など
(県補助金：予算の範囲内で補助対象経費の1/2補助
※1団体上限300万円)



高齢者をはじめとする県民や来訪者の移動手段確保



モデル事業の成果や課題は県内各地域に横展開